

市民と野党の共同広げ

8時間働けばくらしせる

働くルールを守るって！

憲法が活かせる社会をつくるって！

安倍内閣は、国会を7月22日まで、32日間の会期延長を強行しました。「森友」「加計」問題、公文書の改ざん・隠ぺい・ねつ造りなど悪政を顧みることなく、国民の権利や生活を脅かす法案を次々に強行採決しようとしています。

過労死増やす安倍「働かせ方改革」は廃止へ！

6月29日、安倍内閣は「働き方改革」一括法案を、世論調査でも「国会で成立させる必要がない」との声が多数で、国会前や全国で反対の声が広がる中、強行採決しました。

「働き方改革」一括法案については、厚生労働省のデータ改ざん問題を契機に、国民の反対世論が広がり、裁量労働制については一括法案から除外されました。しかし、「高度プロフ

「高プロ」は創設される事態になりました。「高プロ」は、労働基準法の労働時間、休日・休暇の規制を適用しなくてもよいことになり。

「高プロ」は労働者に働き方の裁量を与える法規定がないこと、年収要件（年収1075万以上）には通

勤手当等も含まれ、月例給は最低賃金に違反しない水準であればよいこと、「本人同意・同意の撤回」も無視した使用者に対する罰則がなく実効性が担保されていません。しかも経済団体は年収400万円以上を対象とする案を狙っており、今後も対象を拡大していく可能性がります。

「高プロ」は、残業時間の上限を原則「月45時間、年間360時間」としていますが、休日労働を含めると「月100時間未満、年間720時間」としており、厚生労働省が定める過労死ライン「月80時間」をはるかに超える長時間残業を容認しています。過労死を考える家族の会では、「間違いなく過労死は増える。国は責任をとれるのか」と過労死防止法と正反対の法律を強行したと批判し、過労死が発生した場合、今まで以上に救済されない事態が増えることを懸念を

求めています。立法事実もなく、残業代ゼロで働かせ放題、過労死しても労災認定もされずに自己責任とされるおそれがある「高プロ」は、断じて容認できません。

また、同一労働・同一賃金を謳っていますが、パートタイム労働法で「仕事の内容や責任の程度、転勤・移動の範囲が同じであれば待遇も同じにする」としており、将来の転勤や昇進の可能性を口実とした差別を合法化しています。非正規労働者の待遇改善には程遠いものとなっています。

そして、「働き方改革」一括法では、詳細の部分は、省令を検討する労働政策審議会で審議するとなっており、国会審議は必要ないことも問題です。今後、市民運動と野党共闘、労働組合のたたかいで廃止し、労働者保護法制の強化をめざすとともに、8時間働けばくらしせる働くルールの実現にむけて、府職労は取り組みを進めます。

また、カジノ実施法案（特定複合観光施設区域整備法案＝IR推進法案）は、刑法で禁じられた賭博を合法化するものです。海外からの集客を謳い文句にしていますが、大阪府の調査でも集客予想の3分の2は国内からの集客です。カジノは、ギャンブル依存症の拡大、多重債務問題の再燃、組織暴力の介入、治安悪化、子どもたちへの悪影響など危険性は計り知れませんが、悪影響を及ぼすカジノ実施法案を施行させない世論を高めることが急務です。

次々と悪政を進める安倍内閣と与党

6月29日には、TPP11（アメリカを除く11ヶ国による環太平洋経済連携協定）関連法案などが強行採決されました。国民の命と食を支える農業を衰退させ、食料自給の向上を放棄することになるTPP11関連法案は廃止にすべきです。また、自民党、公明党、維新の会、希望の党の4党は6月27日、改憲手続きのための国民投票法改定案を衆議院に提出しました。政府

この間、国民の声を無視する安倍内閣の国会運営に、大きな批判の声が上がっています。朝日新聞が6月17日・18日に実施した世論調査では、安倍内閣の支持は38%、不支持は45%となっています。また、「森友学園問題に決着がついたか」の問いには、「決着がつかない」12%、「決着はついていない」79%となっています。

こうした、今の国会運営も含めた状況に、納得できていないという声を更に広げ、悪政を許さず、国民のくらしのすみずみに憲法が活かせるように、世論と運動を高めていくことが必要です。

また、カジノ実施法案（特定複合観光施設区域整備法案＝IR推進法案）は、刑法で禁じられた賭博を合法化するものです。海外からの集客を謳い文句にしていますが、大阪府の調査でも集客予想の3分の2は国内からの集客です。カジノは、ギャンブル依存症の拡大、多重債務問題の再燃、組織暴力の介入、治安悪化、子どもたちへの悪影響など危険性は計り知れませんが、悪影響を及ぼすカジノ実施法案を施行させない世論を高めることが急務です。

また、カジノ実施法案（特定複合観光施設区域整備法案＝IR推進法案）は、刑法で禁じられた賭博を合法化するものです。海外からの集客を謳い文句にしていますが、大阪府の調査でも集客予想の3分の2は国内からの集客です。カジノは、ギャンブル依存症の拡大、多重債務問題の再燃、組織暴力の介入、治安悪化、子どもたちへの悪影響など危険性は計り知れませんが、悪影響を及ぼすカジノ実施法案を施行させない世論を高めることが急務です。

また、カジノ実施法案（特定複合観光施設区域整備法案＝IR推進法案）は、刑法で禁じられた賭博を合法化するものです。海外からの集客を謳い文句にしていますが、大阪府の調査でも集客予想の3分の2は国内からの集客です。カジノは、ギャンブル依存症の拡大、多重債務問題の再燃、組織暴力の介入、治安悪化、子どもたちへの悪影響など危険性は計り知れませんが、悪影響を及ぼすカジノ実施法案を施行させない世論を高めることが急務です。

また、カジノ実施法案（特定複合観光施設区域整備法案＝IR推進法案）は、刑法で禁じられた賭博を合法化するものです。海外からの集客を謳い文句にしていますが、大阪府の調査でも集客予想の3分の2は国内からの集客です。カジノは、ギャンブル依存症の拡大、多重債務問題の再燃、組織暴力の介入、治安悪化、子どもたちへの悪影響など危険性は計り知れませんが、悪影響を及ぼすカジノ実施法案を施行させない世論を高めることが急務です。



第1回 職場活動推進委員会を開催

働きやすい職場つくる「レシピ」を知ろう！ 私たち自身の力で職場を快適に



声をあげれば変化をつくり出せる

職場の問題点や改善してほしい点は、職員の声があがらないと放置され、心で思っているだけでは何も変わらない。でも、声をあげると確実に変化をつくりだすことができるということをみんなで学びつつ確認し合う場になりそうに期待と勇気をもらえる委員会になりました。

テキスト「職場を変える秘密のレシピ47」に沿って、小松副委員長がわかりやすく、おもしろく進行し「声のあげ方」「同じの思いの人の見つけ方」など、具体的な日常の事例も交えつつ、みんなが職場ででき

ることを学ばないが、できるワークショップとなりました。

若手からベテランまでみんな「元気がでた！」

参加者はベテラン役員、職場役員、一般組合員と幅広く、採用2〜3年目の青年もたくさんいましたが、ワークショップを終えてみると「お昼休みに職場のみんなに聞いてみます」「職場環境を良くしたいので次回も参加します」「勇気と元気が出ました」などの感想が寄せられました。このワークショップは、連続性がありつつも、1回ずつが完結した内容です。で、毎回参加できなくても大丈夫です。ワークショップ

プロもゆるやかに進み、みんなが本音で話しあえる実践型のもので、職場で行動できても、できなくても、参加者どうしがいろんな相談や交流もできる場でもあります。ぜひ、気軽にご参加ください。



ぜひ参加してください

- Lesson02 7月20日(金) 対一の対話 - 耳は二つ、口は一つ -
- Lesson03 8月31日(金) 職場マップをつくり、リーダーを見出す
- Lesson04 9月21日(金) 課題を選択する - 仲間づくりにふさわしい課題 -
- Lesson05 10月19日(金) キャンペーンを強化する - ゲームプランをつくる -
- Lesson06 11月16日(金) 想定外の事態を想定する - 練習と振り返り -
- Lesson07 12月21日(金) いつでも仲間づくりを - 対話のきっかけづくり -
- Lesson08 1月18日(金) 学んだ秘訣を全ていかそう - 長い目で仲間づくり -

時間 19時00分～20時30分
場所 府職労本部

お問い合わせは府職労本部まで
電話 06-6941-3079
メール info@fusyokuro.gr.jp

方案ぶ
き法走。

堺強訴賃
をの原最低

府震負在
ら対業援行の。
まじり参